

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【公表番号】特表2007-507768(P2007-507768A)

【公表日】平成19年3月29日(2007.3.29)

【年通号数】公開・登録公報2007-012

【出願番号】特願2006-527963(P2006-527963)

【国際特許分類】

G 06 F 9/50 (2006.01)

G 06 F 21/20 (2006.01)

H 04 L 9/10 (2006.01)

【F I】

G 06 F 9/46 4 6 5 A

G 06 F 15/00 3 3 0 B

H 04 L 9/00 6 2 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月24日(2007.4.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ウェブ・サービスを処理するための可動性装置であって、少なくとも1つのウェブ・サービスを実行するために動作する処理装置、前記可動性装置を少なくとも1つの協働するコンピューティング環境に接続する通信インターフェース、前記処理装置と協働して、ウェブ・サービス・データ、及びトランザクション情報を記憶するメモリ記憶装置ユニット、並びに少なくとも1つの暗号化されたウェブ・サービスを実行するために前記処理装置で動作可能なオペレーティングシステムを含むことを特徴とする可動性装置。

【請求項2】

フラッシュメモリ、通信インターフェース、自動制御装置、及び入力用周辺機器の何れかを含む周辺機器を受け入れて協働するために動作する周辺機器インターフェース・モジュールを更に含むことを特徴とする、請求項1に記載の可動性装置。

【請求項3】

前記処理装置に結合され、ウェブ・サービス処理の一部として利用されるNANDフラッシュメモリを更に含むことを特徴とする、請求項1に記載の可動性装置。

【請求項4】

前記可動性装置が前記少なくとも1つの協働するコンピューティング環境と通信するときに、前記少なくとも1つの協働するコンピューティング環境にデスクトップ・コンピューティング環境を提供するために動作可能なモバイル・デスクトップ・コンピューティング・アプリケーションを更に含むことを特徴とする、請求項1に記載の可動性装置。

【請求項5】

前記可動性装置に対する参加ユーザの選択、及び設定をカスタマイズするために動作可能なユーザ管理モジュールを更に含むことを特徴とする、請求項4に記載の可動性装置。

【請求項6】

可動性装置が自動化された機器構成、及び前記少なくとも1つのコンピューティング環境との協働を開始することを可能にする前記オペレーティングシステムを用いて動作する自動実行モジュールを更に含むことを特徴とする、請求項1に記載の可動性装置。

【請求項7】

前記少なくとも1つのコンピューティング環境が、前記少なくとも1つのコンピューティング環境に固有のオペレーティングシステムを含むことを特徴とする、請求項6に記載の可動性装置。

【請求項8】

前記可動性装置の前記オペレーティングシステムが、前記少なくとも1つのコンピューティング環境に固有の前記オペレーティングシステムを制御することを特徴とする、請求項7に記載の可動性装置。

【請求項9】

ユーザ認証情報を使用して参加ユーザを認証するために動作するユーザ認証及び管理モジュールを更に含むことを特徴とする、請求項8に記載の可動性装置。

【請求項10】

前記ユーザ認証情報が、ユーザ識別情報、及びユーザ・パスワード情報の何れかを含むことを特徴とする、請求項9に記載の可動性装置。

【請求項11】

前記可動性装置を、協働する可動性装置管理サーバを用いて認証するために動作する可動性装置プラットフォーム認証及び検証モジュールを更に含むことを特徴とする、請求項1に記載の可動性装置。

【請求項12】

前記可動性装置が前記可動性装置管理サーバと協働して、ウェブ・サービスを得ることを特徴とする、請求項11に記載の可動性装置。

【請求項13】

前記可動性装置を認証すると直ぐに、前記可動性装置管理サーバがウェブ・サービスを前記可動性装置に提供することを特徴とする、請求項12に記載の可動性装置。

【請求項14】

ウェブ・サービスを処理するために前記処理装置と協働するコプロセッサを更に含むことを特徴とする、請求項1に記載の可動性装置。

【請求項15】

ウェブ・サービス・トランザクションを暗号化、及び復号化するために使用する暗号化モジュールを更に含むことを特徴とする、請求項14に記載の可動性装置。

【請求項16】

前記オペレーティングシステムが、種々のコンピューティング・アプリケーションを実行するために動作可能なJava_{TM}仮想マシン(JVM)を更に含むことを特徴とする、請求項1に記載の可動性装置。

【請求項17】

前記可動性装置で複数の作業領域を動作させることを可能にするために動作する作業領域モジュールを更に含むことを特徴とする、請求項16に記載の可動性装置。

【請求項18】

前記作業領域モジュールが、可動性装置認証情報を使用して各作業領域へのアクセスを制御するために動作することを特徴とする、請求項17に記載の可動性装置。

【請求項19】

各作業領域に対する構成情報が、前記メモリ記憶装置ユニットに記憶されることを特徴とする、請求項18に記載の可動性装置。

【請求項20】

ネットワーク化されたコンピューティング環境を介してウェブ・サービスと安全に通信するための方法であって、

ウェブ・サービスを処理するために動作可能な可動性装置を提供し、

前記可動性装置と協働する可動性装置管理サーバの間に通信リンクを介して通信を確立し、及び

前記可動性装置管理サーバによって提供された暗号化されたウェブ・サービスを、前記可動性装置において実行する諸ステップを含むことを特徴とする方法。

【請求項 2 1】

前記可動性装置を前記可動性装置管理サーバによって認証し、前記可動性装置が適切なアクセス権、及び前記可動性装置管理サーバによって提供される、要求されたウェブ・サービスを受信する特権を有することを保証するステップを更に含むことを特徴とする、請求項 2 0 に記載の方法。

【請求項 2 2】

前記可動性装置管理サーバから認証された可動性装置に、要求されたウェブ・サービスを伝達するステップを更に含むことを特徴とする、請求項 2 1 に記載の方法。

【請求項 2 3】

前記可動性装置と協働するコンピューティング環境の間に通信リンクを確立するステップを更に含むことを特徴とする、請求項 2 0 に記載の方法。

【請求項 2 4】

協働するコンピューティング環境でウェブ・サービスを安全に実行するためのシステムであって、

ウェブ・サービス、及び関連するウェブ・サービス・トランザクション・データを処理するための第 1 手段、

ウェブ・サービス、及び関連するウェブ・サービス・トランザクション・データを記憶するための第 2 手段、並びに

前記第 1 手段、及び前記第 2 手段を協働するコンピューティング環境に接続するための第 3 手段を含むことを特徴とするシステム。

【請求項 2 5】

前記システムを前記協働するコンピューティング環境を用いて認証するための第 4 手段を更に含むことを特徴とする、請求項 2 4 に記載のシステム。

【請求項 2 6】

ウェブ・サービスを提供する可動性装置管理サーバと通信するための第 5 手段を更に含むことを特徴とする、請求項 2 5 に記載のシステム。

【請求項 2 7】

前記第 3 手段を通して前記協働するコンピューティング環境でコンピューティング・アプリケーションを実行するための第 6 手段を更に含むことを特徴とする、請求項 2 4 に記載のシステム。

【請求項 2 8】

協働するコンピューティング環境で動作させるために可動性装置を構成するための方法であって、

自動実行オペレーションを前記可動性装置で起動して、前記可動性装置が自らを自動的に構成して前記協働するコンピューティング環境に関連付けることを可能にし、

ユーザ認証情報を得て、

ユーザ認証情報を検証して、及び

正常にユーザ認証されると直ぐ、前記可動性装置が前記協働するコンピューティング環境と協働して、ウェブ・サービスを実行する諸ステップを含むことを特徴とする方法。

【請求項 2 9】

ウェブ・サービス、及び関連するウェブ・サービス・トランザクションを前記可動性装置で記憶するステップを更に含むことを特徴とする、請求項 2 8 に記載の方法。

【請求項 3 0】

コンピュータに以下の方法を実行するように指示するためのコンピュータ読み取り可能な命令を有するコンピュータ読み取り可能な媒体であって、前記方法が、

自動実行オペレーションを前記可動性装置で起動して、前記可動性装置が自らを自動的

に構成して前記協働するコンピューティング環境に関連付けることを可能にし、

ユーザ認証情報を得て、

ユーザ認証情報を検証して、及び

正常にユーザ認証されると直ぐ、前記可動性装置が前記協働するコンピューティング環境と協働して、ウェブ・サービスを実行する諸ステップを含むことを特徴とする媒体。